

令和7年度 宮城県の歯科口腔保健事業の 取組状況について (健康推進課)



(令和8年3月末現在)

令和7年事業計画の概要

※括弧内の金額はR7予算

歯科口腔保健推進の方向性

1 乳幼児期及び少年期の歯科口腔保健対策の重点化

2 歯周病予防対策の強化

3 要介護者、障害児・者への歯科口腔保健対策の充実

4 連携体制の整備を推進するための施策の展開

県民に対する啓発普及

① 妊娠期における歯科保健対策事業(297千円)

妊産婦及び乳幼児の歯科口腔保健の推進を図るための普及啓発を行う

妊産婦向けパンフレットを増刷し、市町村、産科医院等を通じて配布し、妊娠期・胎児期からの切れ目のない歯科口腔保健の取組を推進

② 宮城県歯科保健大会(678千円)

宮城県、宮城県教育委員会、宮城県歯科医師会の共催で各種表彰や講演を実施

・各種コンクール最優秀賞・特別賞受賞者の表彰式及び特別講演の実施を通じて広く県民への啓発を図る。
・宮城県歯・口の健康に関する標語・図画・ポスターコンクール受賞作品展(11月 県庁1階ロビー)

③ フッ化物洗口普及事業(2,016千円)

施設への新規導入について、市町村を支援しフッ化物洗口の普及を推進。むし歯のある子どもとその保護者に対して、重点的な保健指導や予防措置の取組が推進されるように市町村を支援、連携体制を強化

・市町村及び施設への説明会対応
・導入施設での保護者説明会講師等対応
・導入時の技術的助言・支援
・学校でのフッ化物洗口実施をサポートする人材確保と研修会の開催を通じた育成を通じて学校での導入を支援

などの取組を通じてフッ化物洗口の導入を支援、健康格差の解消を図る。

⑥ 少年期・青年期の歯周病予防啓発事業(444千円)

高校生等への歯肉炎対策に係る体験型の啓発を実施

高校等への歯科清掃用具等を配布、口腔ケア方法の指導や普及啓発を実施
より学校や地域と密着した取り組みとなるよう、学校の保健委員や地域の歯科医師、歯科衛生士と連携し、実施内容を企画、学校や地域の状況に応じた内容で実施

⑨ 幼児歯科保健関係者研修会(60千円)

幼稚園教諭、保育士、市町村母子保健担当者等への研修会を行い歯科口腔保健を推進

研修動画配布等を通じて保育現場等での歯科保健の取組の充実を図る。

⑩ 少年期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会【委託】(324千円)

小中学校保健主事、養護教諭等への研修会を行い、学童期における歯科口腔保健を推進

歯科医師会と連携し、養護教諭や学校歯科医向けの教育教材(改訂版)を活用し、地域での研修の実施により、学校での指導を支援

④ 働き盛り世代、職域に対する歯と口腔の健康づくり普及啓発事業(1,014千円)

働き盛り世代の歯周疾患への予防啓発

スマートみやぎ健民会議・協会けんぽ等と連携した事業所での普及啓発、事業所における優良事例を県ホームページで紹介などを通じて横展開を図る。

⑤ 口腔機能維持向上事業(1,021千円)

働き盛り世代に対して、オーラルフレイル等の口腔機能維持のための知識に関する普及啓発の取組を実施

オーラルフレイル等に関する啓発資料を作成、スマートみやぎ健民会議などを通じて活用し、働き盛り世代のオーラルフレイル対策を促進。また、「ゆっくりよくかんで食べる」ことの啓発により肥満防止にもつなげる。④の事業と連動

⑦ 市町村への補助事業(市町村健康づくり推進事業)

市町村が行う歯科口腔の健康に関する事業費の補助

受動喫煙防止対策推進事業

受動喫煙防止対策事業にからめた啓発
※歯科保健とは別予算にて事業実施

⑧ 特定健診歯科口腔保健指導導入事業【委託】(10,662千円)

特定健診時に歯科保健指導を導入、歯科の側面から生活習慣病の発症や重症化予防を図る

歯科医師会、モデル市町村と連携し特定健診時の歯科保健指導を実施、歯科受診や適切な口腔衛生習慣の定着等を促す。

⑪ 障害児親子歯みがき教室【委託】(357千円)

障害児の保護者、施設職員等に対する歯みがき指導をとおして、障害児への口腔ケアの定着を推進(2か所程度)

⑫ 障害児親子歯みがき教室支援者研修事業【委託】(387千円)

障害児・者自身と保護者の口腔ケアに関する知識と技術の普及と向上を図る研修会の実施により、障害児・者自身と保護者に対する指導を行うことができる人材を育成する。

歯みがき教室に加え、歯科衛生士会と連携し、障害児・者の歯科保健や公衆衛生活動に興味のある歯科衛生士の人材育成に関する研修会を開催し、取組の裾野を広げる。

⑬ 在宅歯科医療連携室整備事業

1 在宅歯科医療連携室整備事業【委託】(7,489千円)

全県的な在宅歯科医療の相談窓口を設

みやぎ訪問歯科相談室の設置や利用の促進に向けた周知・広報、研修会開催等を通じて県内の相談対応機能を強化

2 在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業【補助】(2,474千円)

在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、人員の配置及び研修会の実施に補助

みやぎ訪問歯科・救急ステーションへの人員配置、歯科医療連携合同協議会開催への補助を通じて歯科医療提供体制を強化

⑭ 要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業【委託】(1,286千円)

ヘルパーや施設職員等を対象とした要介護者及び障害児者の口腔ケアの必要性とその方法についての研修を実施

要介護者及び障害児・者の口腔ケアの理解と知識の普及に向けた研修会を開催。適切な技術の習得と知識の普及を図る。研修会開催3回→4回

⑮ 歯科保健推進協議会(313千円)

本県の歯科口腔保健事業の実施方針の協議、本県の歯科口腔保健に係る重要事項を決定(会議開催経費)

⑯ 口腔保健支援センター運営事業(7,191千円)

歯科医療等業務の従事者、市町村担当者等を対象にした啓発、情報収集、人材育成を目的とした研修会を実施し、各種歯科口腔保健

第3期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画に基づき、各種施策を展開。地域間格差の解消や健康格差の解消に向け、地域課題に応じた効果的な施策が展開されるよう、市町村や地域の歯科専門職と連携した取組を推進

⑰ 食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業(387千円)

変更

食育を通じた歯と口腔の健康づくりについて、教育庁と連携した啓発事業を実施

教育機関と連携して「ゆっくりよくかんで食べる」ことの啓発等を行うことによって、児童・生徒が生涯を通じて主体的に歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう支援する。

⑱ 8020運動及び歯科口腔保健の推進に関する検討評価委員会(230千円)

8020運動推進特別事業等の実施手法に関する検討・評価(会議開催経費)

⑲ 市町村歯科保健担当者研修会(222千円)

市町村の歯科保健・母子保健担当者による県内の課題共有と市町村間の情報交換

市町村研修会(大規模災害／情報交換)

・大規模災害時の避難所等への歯科医療救護に関する対応について関係団体や関係各課との連携体制強化
・市町村間の意見交換及び課題共有

歯科医療従事者等に対する研修

妊娠期における歯科保健対策事業

■ 事業目的

妊産婦等を対象とした歯科口腔保健に関する啓発冊子を増刷し、産科医院、助産院、市町村の関係機関を通じ配布するもの。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

- ・「妊娠期からはじめるお口の健康」パンフレットを11,000部増刷し配布
- ・産科医院、助産院向けにリーフレット（歯科健診受診勧奨のお願い）を併せて配布



宮城県歯科保健大会

■ 事業目的

家庭の中で歯の健康管理を通じた健やかな生活づくりを推進し、「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を広く県民に啓発することを目的とする。

■ 実施主体 一般社団法人 宮城県歯科医師会・宮城県・宮城県教育委員会

■ 事業実績

- ・ 11月8日 各種コンクール最優秀賞等受賞者 表彰式
特別講演：「気づいていますか？お子さんの“口のクセ”が将来に与える影響」
東北大学大学院歯学研究科小児発達歯科学分野教授 齋藤 幹 氏
50名出席
- ・ 宮城県歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール受賞作品展
県庁1階ロビー 11/4～14
- ・ 宮城県歯・口の健康に関する標語・図画・ポスターカレンダーを作成



フッ化物洗口普及事業

- 事業目的 市町村への技術的支援、幼児保育施設及び学校関係者等への研修によりフッ化物洗口の円滑な導入を図る。
- 事業内容
 - ・ フッ化物洗口マニュアル、啓発媒体、研修資料等の作成及び提供
 - ・ サポート支援者研修会
 - ・ その他のフッ化物洗口の円滑な導入手順の確立に必要な支援
- 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター
- 事業実績
 - 1 角田支援学校白石校を対象に、継続的なフッ化物洗口実施の定着に向け技術的支援を実施（随時）
 - 2 フッ化物洗口マニュアルの配布



働き盛り世代、職域に対する歯と口腔の健康づくり普及啓発事業

■ 事業目的

働き盛り世代の歯周疾患への予防啓発を図るため、事業所における従業員への歯科保健の取組を推進する。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

全国健康保険協会宮城支部と連携し、歯科出前講座を実施。

（県内9事業所・129名参加（R8.3月末現在））

事業実施前後にアンケートを実施し、知識取得や意識の変化について確認する。

口腔機能維持向上事業

■ 事業目的

働き盛り世代を対象に、口腔機能の維持及び口腔機能が低下した場合にはその回復及び向上を図るため、オーラルフレイル等の口腔機能に関する知識の普及啓発を行う。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

オーラルフレイルに関するチラシを10,000枚を作成し市町村を通じて配布



少年期・青年期の歯周病予防啓発事業

■ 事業目的

高校生に対し、授業やイベント等の機会を通じて歯間清掃用具等の体験等を通じた普及啓発を実施することにより、歯周病予防を主とした歯科口腔保健の普及啓発と意識向上を図る。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

- ・ 5校で実施

(内容) 歯科健診後に実施(動画視聴)

学校歯科校医による講話と合わせ実施

歯科衛生士による講話、歯みがき・フロス体験を実施

(参加者) 宮城県佐沼高等学校 671名(全学年)

宮城県石巻好文館高等学校 176名(3年生)

宮城県名取高等学校定時制 59名(全学年)

宮城県松山高等学校 30名(3年生)

宮城県石巻北高等学校 108名(3年生)

※全校生徒を対象に、歯ブラシ・デンタルフロス・啓発チラシを配布した。

特定健診歯科口腔保健指導導入事業

■ 事業目的

県民の歯科口腔保健指導を受ける機会を確保することにより、適切な歯科健康管理を促し、生活習慣病の発症や重症化予防につなげるため、市町村と連携して、特定健診の集団健診の場を活用した歯科保健指導を導入する。

■ モデル市町村

多賀城市、名取市、大崎市、山元町

■ 事業実績

・特定健診の場での歯科保健指導（歯科医師による口腔内チェック・歯科衛生士による指導等）

市町村名	実施日数等	実績人数
多賀城市	2日（6/18、6/22）	24名
名取市	2日（7/28～7/29）	83名
大崎市	7日（7/3～7/5、7/7～7/10）	452名
山元町	2日（9/10～9/11）	54名
		計613名

・市町村研修会

特定健診の場における歯科口腔保健指導の実施について市町村間での横展開を図り、県民の歯科保健指導を受ける機会の確保に取り組む市町村を増やすため、市町村等を対象に研修会を令和8年3月12日に実施

■ 事業目的

幼稚園・保育園・認定こども園職員、市町村母子保健・歯科保健担当者等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため研修会を開催する。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績(R8.3月末現在)

「幼児期の歯科口腔保健」をテーマに、視聴者がニーズに応じて聴講できるよう、「①宮城県における幼児のむし歯の現状と傾向」「②幼児期の口腔の発達と特徴」「③むし歯の原因」「④むし歯の予防」「⑤歯みがきの仕方」の5項目に分けて研修動画を作成し、受講しやすい環境を整備した。

(動画再生回数：①163回、②86回、③82回、④89回、⑤125回)

少年期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会

■ 事業目的

令和6年度に作成した養護教諭や学校歯科校医向けの教育教材や教材の活用方法に係る動画の作成・配信、教材を用いた出前講座を実施し、少年期における歯科口腔保健を推進する。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業実績(R8.3月末現在)

教育教材の活用方法に係る動画の作成・配信	出前講座
○作成委員会 開催：1回(R7.11.17) 委員会メンバー：歯科医師3、県教委職員1 ○配信 WEB研修(R8.1.20)及びオンデマンド配信(R8.2.10まで) WEB研修参加者25名、動画再生回数45回	R8.3.12実開催 「歯・口をけがした時のポイント」 講師：宮城県歯科医師会常務理事 阿部 清一郎氏 出席者数：17名

■ 事業目的

障害児・者については、障害児・者自身と保護者による適切なセルフケアの徹底が必要であることから、歯科口腔保健に関する講話及び歯科保健指導を実施し、保護者及び施設職員の意識啓発と技術習得を図る。また、障害児・者自身と保護者に対する口腔ケア等の指導を行うことができる人材を確保するため、歯科衛生士を対象に、知識と技術の普及・向上を図る研修会を開催する。

■ 委託先

一般社団法人 宮城県歯科衛生士会

■ 事業実績

(障害児親子歯みがき教室)

県内2か所の児童発達支援施設で親子歯みがき教室を実施

- ・ 令和7年10月8日 亘理町「HIYOKO・KIDS亘理教室」

参加者：未就学児15名、保護者18名、施設職員3名

- ・ 令和7年11月3日 栗原市「ウィズ・ユー栗原」

参加者：未就学児3名、児童7名、保護者4名、施設職員3名

(障害児親子歯みがき教室支援者研修会)

8020運動推進特別事業

- ・ 令和7年10月5日 ハイブリッド開催（会場・Web）

「教育活動の視点から考える地域の障害児（者）の歯科治療」

千木良デンタルクリニック 副院長 千木良 あき子氏

参加者：72名（会場23名、Web 49名）

在宅歯科医療連携室整備事業

■ 事業目的

口腔内に問題を抱えている在宅の要介護者・障害者及びその家族等のニーズに応え、歯科及び介護等分野との連携を図るための相談窓口を設置することにより、地域における在宅歯科医療の推進及び介護等分野との連携体制の構築を図る。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業概要

宮城県歯科医師会内に「みやぎ訪問歯科相談室」を設置し、下記の業務を実施

- 1 口腔ケアに関する相談対応
- 2 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供
- 3 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発

■ 事業実績(R8.3月末現在)

- 1 口腔ケアに関する相談対応
相談件数：151件
在宅歯科医療実施医療機関数：237件
障がい児・者歯科診療相談窓口設置医療機関：86件
- 2 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供：104件
- 3 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発

日時	演題	講師	開催方法	参加者数 (申込者数)
R8.3.14	訪問歯科で始める摂食嚥下	東北大学病院 咬合回復科 医局長 白石 成 氏	実開催 (宮城県歯科医師会館)	41名

在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業

■ 事業目的

各医療圏に在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、県歯科医師会が実施する専門職の配置及び研修会の開催を支援する。

■ 補助対象 一般社団法人 宮城県歯科医師会（補助率2/3）

■ 事業概要

在宅の要介護者等に対する歯科保健・医療の相談・診療窓口機能を整備するため下記を実施

- 1 既存窓口への専門職配置
- 2 運営委員会の開催

■ 事業実績(R8.3月末現在)

- 1 既存窓口への専門職配置
 - ・ みやぎ訪問救急ステーション対応件数
訪問回数：840回 訪問回数中の専門的口腔ケア：261回
- 2 運営委員会
 - ・ 2回開催（令和7年9月2日、令和8年2月18日）
- 3 歯科医療連携室合同協議会
 - ・ 1回開催（令和8年3月3日）

■ 事業目的

要介護者及び障害児・者の歯と口腔のケアを担う歯科医師、歯科衛生士及び介護等に従事する職員等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため、研修会を開催する。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業実績

介護職員や社会福祉施設関係者等多職種を対象とし、要介護者、障害児・者等の口腔ケアに関する知識、技術向上を目的とした研修を開催

・ 要介護者の口腔ケア支援者研修会

日時	演題	講師	開催方法	参加者数（申込者数）
R7.12.23	「口腔連携強化加算」の概要と算定要件の詳細について 訪問看護における「口腔連携強化加算」の取り組み～導入から現在までの経過～	宮城県歯科医師会 常務理事 相澤 俊彦氏 仙塩訪問看護ステーション 所長 比良 孝子氏	WEB開催及びオンデマンド配信	申込件数78名 視聴者数97名 動画再生回数196回
R8.1.17	「生きる」を支える口腔ケア ～口腔ケアの意義と基本技術を学ぼう～	宮城高等歯科衛生士学院 教務主任 小原 由紀氏	実開催 (宮城県歯科医師会館)	参加者29名

・ 障害児・者の口腔ケア支援者研修会

日時	演題	講師	開催方法	参加者数（申込者数）
R8.2.10	障がい者歯科専門医直伝 口腔ケアのあれこれ	宮城県歯科医師会 在宅歯科部会 副部会長 河瀬 聡一朗 氏	実開催 (宮城県歯科医師会館)	参加者34名
R8.2.25	一次医療機関で障がい児・者を どのように診るか 障がい者歯科を支える歯科衛生士 の役目 一次医療機関での絵カードの活用 笑顔が増える障害児・者歯科医療	ことぶき歯科 院長 山本 寿則 氏 ことぶき歯科 歯科衛生士 平 由香 氏 石巻歯科医師会 障がい児・者歯科診療所 歯科衛生士 齋藤 菜穂 氏 千木良デンタルクリニック 副院長 千木良 あき子 氏	実開催 (大河原町駅前コミュニ ティセンターまちづく りオーガ)	参加者58名

口腔保健支援センター設置・運営事業

■ 事業目的

本県の歯科保健事業の充実・強化を図り、関係機関・団体との連携を強化するため、歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、「口腔保健支援センター」を設置・運営

■ 組織体制

センター長：健康推進課長、副センター長：健康推進課総括課長補佐
歯科医師（1名）、歯科衛生士（1名）

■ 業務内容

歯科口腔保健に関する啓発、歯科口腔保健に関する情報の収集及び提供、歯科口腔保健の推進に携わる人材の育成を目的とした研修等の実施など



食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業

■ 事業目的

食育の観点から歯と口腔の健康づくりに取り組むこととし、肥満防止につながる食べ方として「ゆっくりよくかんで食べる」ことの啓発、バランスの取れた食生活や望ましい食習慣の確立等、児童及び生徒が生涯を通じて主体的にはと口腔の健康づくりに取り組めるよう支援する。

■ 実施主体

宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

・ 県内小中学校 5 校で実施

(内容) ・ 栄養教諭との連携により実施

栄養教諭による講話（給食の食材及びゆっくりよくかむことの大切さについて）

歯科衛生士による講話及び歯みがき指導

・ 親子参観日に全校生徒向けの歯科講話及びブース形式での歯みがき指導

(参加者) 加美町立鳴峰中学校 58 名（中学 1 年生）

蔵王町立円田小学校 16 名（小学 6 年生）

東松島市立矢本東小学校 439 名と保護者（小学校全学年）

登米市立石越中学校 36 名（中学 1 年生）

美里町立北浦小学校 95 名と保護者 78 名（小学校全学年）

※参加者へ歯ブラシ・デンタルフロス・染め出し液・啓発チラシを配布した。

■ 事業目的

市町村歯科保健担当者及び県担当者が一堂に会して意見交換を行い、各市町村の現状や課題、取組について共有することで、歯科口腔保健に関する連携体制の一層の推進を図る。「第3期宮城県歯と口腔の健康づくり計画」に基づき（※）、災害時の歯科保健医療体制について学び、関係機関との連携体制整備の一助とするため研修会を開催する。

（※）大規模災害時の歯科口腔保健に関する事項

災害時における歯科口腔保健の重要性について、研修等の機会を通じて平時から啓発に努める。

■ 実施主体 宮城県口腔保健支援センター・宮城県

■ 事業実績

R7.8.19実施（WEB開催）

	内容	講師・説明者	参加者数
担当者会議	説明（1）R7年度歯科保健事業計画概要 （2）市町村の歯科保健事業等に関する調査について 事例紹介 県内市町村の歯科保健事業について 情報交換	宮城県保健福祉部健康推進課職員 川崎町	48名
研修会	説明 宮城県の災害時歯科保健医療体制について 講義 災害時の歯科保健医療活動～フェーズごとの支援の変遷、歯科及び多職種における分担と連携～	宮城県保健福祉部健康推進課職員 東北大学大学院歯学研究科 特任講師 中久木 康一氏	56名

災害時歯科保健医療提供体制整備事業

■ 事業目的

災害時に、適切な歯科保健医療提供体制を確保することを目的に、関係団体が避難所等において歯科医療又は口腔ケア等の歯科保健医療活動を実施する際に必要となる車両及びポータブルユニット等の器具・器材の整備について補助するもの。

■ 補助対象 一般社団法人宮城県歯科医師会 （補助率10/10）

■ 事業概要

災害時に、歯科医療又は口腔管理等の歯科保健医療活動の実施に必要な車両及びポータブルユニット等の器具・器材の整備に要する経費

基準額：19,008千円

■ 主な整備設備

- ・ ポータブルユニット
- ・ ポータブルレントゲン
- ・ 医療機器等運搬車両 など